

JSDP^{27th}



一般社団法人

日本発達心理学会第 27 回大会ご案内

(1 号通信)

ご挨拶

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。第 27 回大会は、日本発達心理学会の大会が初めて津軽海峡を渡り、北海道で行われることとなりました。会場は札幌市にあります北海道大学の高等教育推進機構ならびに遠友学舎です。天候に鑑み、時期を 2016 年 4 月 29 日～5 月 1 日としましたことをご理解いただけましたら幸いです。

本大会のテーマは、「変化と多様性のなかの発達心理学」です。

グローバル温暖化をはじめとする大小の自然環境の変化、少子高齢化やモビリティによる人口学的な変化、電子機器の普及発達に伴う私たちの行動や人間関係の変化等々により、法や制度、教育の在り方、心理的支援・介入も多様化し、発達心理学の役割はますます大きなものとなっています。変化と多様性のなかで、発達心理学のどのようなディシプリンは変わらず、どのような側面は変化・進化し、他領域との連携・融合が進んでいくのか。本大会が、こういった様相を見渡すことのできる、新たな出発点となればと願っております。

大会企画としましては、乳児の心的理解に関する「二人称的アプローチ」で注目を集める Vasudevi Reddy 教授（ポーツマス大学）、社会心理学の捉え直しから人間の自由と主体性に関する根源的な問いかけをされている小坂井敏晶准教授（パリ第八大学）をお招きし、講演をお願いする予定です。また、国内研究交流委員会による「理論と実践をつなぐ子どもの見方」など、様々な企画も順調に進んでおります。ぜひ楽しみにいらしてください。

なお、本大会には、いくつか特徴があります。一つは、2016 年 7 月 24～29 日に横浜パシフィコで開催される国際心理学会議（ICP2016）に先駆けた大会となることです。世界の心理学者が集う ICP2016 のテーマ「Diversity in Harmony: Insights from Psychology」と緩やかに連動し、発達心理学を盛り上げていければと思います。

もう一つは、これまでにない時期、場所での開催も含め、大会開催の手続きを整理し、今後、持ちまわりで大会を維持・開催していく方法を模索する実験的な大会としたい、ということがあります。そのため、これまでとは異なる「変化」が生じる可能性もありますが、ご理解・ご協力を賜われましたら幸いです。

どうぞ皆様、雪が溶けてありとあらゆる花々が一斉に咲き出す美しい春の北海道に、ぜひお越し下さい。

2015 年 8 月

発達心理学会第 27 回大会委員長
仲 真紀子

目 次

- I. 送付物一覧 p. 2
- II. 会期・会場 p. 2
- III. 実施内容 p. 2
- IV. 大会参加の手続き p. 5
- V. 大会に関する広報・諸連絡 p. 8
- VI. 第 27 回大会および学会に関する連絡先 p. 9

I. 送付物一覧

今回お送りしたものは次の通りです。不足するものがあれば日本発達心理学会第 27 回大会サポートデスク (E-mail : g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp) に連絡をお願いします。

- 1) 「大会ご案内 (1 号通信)」(本通信)
- 2) 「郵便振替用紙」

※本大会では **2 号通信は送付しません**。「原稿書式要領」は大会ホームページをご参照ください。

II. 会期・会場

会 期：2016 年（平成 28 年）4 月 29 日（金・祝），30 日（土），5 月 1 日（日）

会 場：北海道大学札幌キャンパス・高等教育推進機構および遠友学舎

〒060-0811 札幌市北区北 8 条西 5 丁目（大学本部）

III. 実施内容

本大会の実施内容は、①招待講演，②大会委員会企画シンポジウム，③学会企画シンポジウム，④ポスター形式の研究発表，⑤自主シンポジウム，⑥ラウンドテーブル，⑦学会関連団体による企画シンポジウムです。

次に、それぞれの概要と発表形態，参加方法などについて説明します。

1. 招待講演

招待講演には以下の 2 件他を予定しています。詳細は大会プログラムでご案内します。

- ・ Vasudevi Reddy 教授（University of Portsmouth, ポーツマス大学）

演題：未定

指定討論者：佐伯 胖 氏（田園調布学園大学大学院・教授，公益社団法人信濃教育会教育研究所・所長）

- ・ 小坂井敏晶 准教授（Université Paris 8, パリ第八大学）

演題：未定

指定討論者：加藤 義信 氏（名古屋芸術大学・教授）

2. 大会委員会企画シンポジウム

大会委員会では、大会テーマ「変化と多様性のなかの発達心理学」をコンセプトに、以下の3件のシンポジウムを企画しています（いずれも仮題）。シンポジウム登壇者などの詳細は大会プログラムでご案内します。

- ・子どもの生育環境と発達—遺伝と環境の交互作用についての新しい視座—
- ・当事者主体の実践と支援を考える—べてるの家当事者主体の実践を学ぶ—
- ・発達研究のパイオニア・三宅和夫が遺したもの、残ったもの

3. 学会企画シンポジウム

- ・各種委員会企画シンポジウム 他
- ・関連学会・団体との共催シンポジウム 他

※ただし、理事会および各種委員会の企画の場合は企画費は徴収致しません。

4. ポスター形式の研究発表

- (1) **発表形態** 個人または複数の人がポスター形式で研究を発表するものです。ポスター・パネル（横 90 cm×縦 190 cm）にポスターをセッション開始時刻までに発表者自身で掲示し、それをもとに発表者と質問者が個別に討論します。ポスターの掲示時間は午前または午後の 120 分で、責任在席時間は決められた 50 分とします。連名発表者も大会に参加し、発表に参加することが期待されていますが、責任在席時間はありません。連名発表者は申込者と共同で研究した者に限ります。
- (2) **論文集割当ページ** それぞれの発表には「大会論文集」の 1 ページ分が与えられます。論文集原稿の作成要領は、大会ホームページでお知らせいたします。
(注) 責任発表者が参加申込費を期日までに納入しない場合には、論文集への掲載はできませんのでご注意ください。また、非会員が責任発表者になることはできません。
- (3) **発表要件** 「大会論文集への掲載」「掲示時間内のポスター掲示」と「掲示場所での責任在席時間内の個別討論」の全てを行うことによって、公式発表と認められます。3つの要件で変更、不備・不足があった場合には、大会委員会は学会と協議しその取り扱いを決定し、その決定を機関紙広報欄で報告します。
- (4) **発表回数** 責任発表者となれるのは、大会期間中 1 回に限ります。ただし、連名発表者となる場合には回数の制限はありません。
- (5) **研究発表費** 研究発表費は、単独での発表の場合は大会参加費の 12,000 円（学生 9,000 円）に含まれます。非会員の連名者がいる場合は、人数に関わらず一律で 16,500 円（学生 13,500 円）となります。

5. 自主シンポジウム

- (1) **発表形態** 会員の自主運営によるシンポジウムです。企画者が出演者（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど）を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。時間は 120 分です。会場として 50～100 名程度収容可能な部屋を用意します。机と椅子は会場により固定の場合がありますので、ご了承ください。会場係のスタッフが進行のお手伝いをします。会場では、コピー機使用およびスタッフによるコピー代行はできません。資料、お水等が必要な場合に

は、企画者自身で事前にご用意ください。

- (2) **企画申込** 開催を希望される方は、規定の要領で企画申込をしてください。なお、会場スペースの都合により、企画数が多い等の理由で開催できない場合があります。開催可能か否かについては 10 月中旬までに企画者に通知します。
- (3) **論文集割当ページ** それぞれの発表には「大会論文集」の 2 ページ分が与えられます。
- (4) **企画および出演回数** プログラム作成上の理由により、会員が自主シンポジウムを企画申込みできる回数は、1 回までとさせていただきます。企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への企画出演者とみなし、企画出演者としての登録はラウンドテーブルと合わせて大会中 1 人 2 回までとさせていただきます。
- (5) **企画費** 企画費は 20,000 円です。企画申込者が参加費と一緒に支払い下さい。
- (6) **企画申込者以外の研究発表費** 会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の納入が必須となります。非会員が、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等として企画に出演する場合の連名費は不要ですが、その場合は、その方が大会参加費を大会期間内に大会受付にて支払う必要があります。シンポジウム開催当日までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。なお、同一非会員が複数の発表・企画に出演される場合は、大会参加費のお支払いは 1 回でかまいません。

6. ラウンドテーブル

- (1) **発表形態** 同じ問題意識を持った者同士の自由な議論が主体の企画です。企画者は参加者に話題を投げかけ、討論を促します。必要に応じて、話題提供者やファシリテーターを設定してもかまいません。ただし、シンポジウムと違い、話題提供者とフロアとの区別はありません。時間は 120 分です。会場として 50 名程度収容の部屋を用意します。会場系のスタッフはつきません。飲み物などの準備はありません。会場では、コピー機使用およびスタッフによるコピー代行はできません。資料、飲み物等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。
- (2) **企画申込** 開催を希望される方は、規定の要領で企画申込をしてください。なお、会場スペースの都合により、企画数が多い場合等の理由で開催できない場合があります。開催可能か否かについては 10 月中旬までに企画者に通知します。
- (3) **論文集割当ページ** それぞれの発表には「大会論文集」の 1 ページ分が与えられます。
- (4) **企画および出演回数** プログラム作成上の理由で、1 人がラウンドテーブルを企画申込みできる回数は、1 回までとさせていただきます。企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなし、出演者としての登録は自主シンポジウムと合わせて 1 人 2 回までとさせていただきます。
- (5) **企画費** 企画費は 10,000 円です。企画申込者が参加費と一緒に支払い下さい。
- (6) **企画申込者以外の研究発表費** 会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の納入が必須となります。非会員が、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等として企画に出演する場合の連名費は不要ですが、その場合は、その方が大会参加費を大会期間内に大会受付にて支払う必要があります。ラウンドテーブル開催当日までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。なお、同一非会員が複数の発表・企画に出演される場合は、大会参加費のお支払いは 1 回でかまいません。

7. 日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム

- (1) **企画者** 「臨床発達心理士」認定運営機構などによる企画を想定しています。会場系のスタッフが進行のお手伝いをします。
- (2) **発表形態** 自主シンポジウムに準じます。時間は 120 分です。
- (3) **企画申込** 企画代表者が大会委員会宛に直接申し込んでください。
- (4) **論文集割当ページ** 「大会論文集」の 2 ページ分が与えられます。
- (5) **企画費** 企画費は 10,000 円です。企画申込者が参加費と一緒に支払い下さい。

IV. 大会参加の手続き

1. はじめに

すべての手続きは大会ホームページ (<http://www.jsdp.jp/conf2016/>) を通じて、オンラインで行います。問題やご質問がある場合は、日本発達心理学会第 27 回大会サポートデスク

(g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp) までご相談ください。なお、いずれの申し込みも、「費用納入」をもって完了します。

2. 大会参加の申し込み

大会に参加し、発表や企画を行う発達心理学会会員は、10 月 2 日（金）までに、「大会参加の申し込み」を済ませてください。非会員は、事前の大会参加申し込みはできません。

なお、大会参加の申し込みを行うには、あらかじめ 2015 年度の年会費が納入されていることが必要です。年会費についてのお問い合わせは、上記サポートデスク (g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp) まで連絡をください。

3. 発表・企画の申し込み

「大会参加の申し込み」終了後、「発表・企画の申し込み」が可能です。10 月 2 日（金）までに手続きをしてください。なお今大会の発表・企画の形式は以下の 3 つです。

- ・ポスター発表
- ・自主シンポジウムの企画
- ・ラウンドテーブルの企画

4. 費用の納入

費用の納入は、クレジットカードまたは郵便振替をお願いします。費用については次ページの表 1 の通りです。

発表・企画の申し込みをされた会員は、11 月 16 日（月）までに費用を納入してください。期日内に参加費・企画費の納入がない場合、発表・企画は認められません。

- ・クレジットカードの場合：ホームページの指示に従ってください。
- ・郵便振替用紙の場合：振込用紙に記載された会員番号・氏名等を確認いただき、必要事項をご記入の上、お振込ください。

表 1 大会参加の諸費用一覧

費用	対象	事前・前納	当日	備考
大会参加費 (大会論文集は CD-ROM のみ を送付)	一般会員			
	大会参加のみ	12,000 円	13,000 円	
	大会参加・発表・非会員 の連名者なし	12,000 円	—	
	大会参加・発表・非会員 の連名者あり	16,500 円	—	非会員の連名者が 1 名でも 複数名でもこの料金です。
	学生会員			
	大会参加のみ	9,000 円	10,000 円	
	大会参加・発表・非会員 の連名者なし	9,000 円	—	
	大会参加・発表・非会員 の連名者あり	13,500 円	—	非会員の連名者が 1 名でも 複数名でもこの料金です。
	非会員			
	大会参加	—	13,000 円	当日受付のみ
	学部生	—	3,000 円	当日受付のみ
自主シンポジウム 企画費	企画申込者	20,000 円	—	企画申込者が支払います
ラウンドテーブ ル企画費	企画申込者	10,000 円	—	企画申込者が支払います
大会論文集	追加購入希望者	4,000 円	5,000 円	CD-ROM のみを予定
大会プログラム	追加購入希望者	1,000 円	1,000 円	会員には事前に 1 冊送付さ れますので追加購入される 場合の値段です
懇親会費	一般会員	5,000 円	6,000 円	
	学生会員	1,000 円	2,000 円	
	非会員	—	6,000 円	

なお、下記の点にご注意ください。

- ・大会参加予約だけの場合：11 月 16 日（月）までに納入してください。
- ・論文集を追加購入する場合：11 月 16 日（月）までに納入してください。
- ・当日受付：発表・企画の申し込みをしておらず、事前の参加申込をしていない方でも、当日、受付にて大会参加費を支払うことで参加できます。
- ・非会員に関わる費用：非会員が「大会会場に来られる場合」は、連名発表やシンポジウム／ラウンドテーブルでの報告の有無に関わらず、当日、受付で大会参加費をお支払いください。

5. 大会論文集原稿の投稿

ポスター発表，自主シンポジウム，ラウンドテーブルの申し込みをした方は，11月16日（月）17時までに大会論文集原稿を投稿してください。投稿がない場合，発表・企画は取り消されますので，ご注意ください。

6. 注意事項：お読みください！

- ・自主シンポジウム／ラウンドテーブル：企画者の費用納入とともに，企画出演者である会員全員が「大会参加費」を納入している必要があります。なお非会員の登壇者については，「大会参加費」を当日，受付でお支払いください。
- ・費用の返却：納入された費用は，「発表取消し」等の自己都合による場合，返却できません。あらかじめご了承ください。
- ・学部生の発表：2016年3月卒業予定等の学部学生も発表者になることができます。ただし，発表申込前までに2015年度会費の納入を含めて学生会員の入会手続きを完了していることが必要です。
- ・年会費の納入：第27回大会は2016年度の大会であり，2016年度会費を発表当日までに納入していることが必要です。2016年3月卒業予定等の学部学生が発表者等になる場合も同様です。（定款では，翌年の会費を12月末日までに支払うことになっています。）

7. 大会論文集の予約購入

大会論文集 CD-ROM の事前予約の代金は 4,000 円（送料含む）です。印刷部数は予約購入数により決定しますので，機関購読をご希望の場合，事前予約をおすすめします。

11月16日（月）までに，下記の事項を日本発達心理学会第27回大会サポートデスク(E-mail: g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp) にお送りください。

- ・機関名(領収書の宛先名義)
- ・担当者
- ・連絡先
- ・部数
- ・その他(見積書，納品書，請求書が必要な場合は，その旨を明記してください。)

8. 個人情報の取り扱いについて

本大会の申し込みや問い合わせにより得られた個人情報は，個人情報保護法に基づき，諸連絡，支払いの確認といった本大会運営上必要な業務にのみ使用し，それ以外には使用いたしません。

V. 大会に関する広報・諸連絡

1. これからの諸連絡

今大会は、2号通信を送付しません。今後の諸連絡は、すべて大会ホームページにてお知らせいたします。諸費用の払い込みは、基本的に大会ホームページからクレジット決済にてお願いいたします。クレジット決済で払い込みをしない場合は、同封の「郵便振替用紙」をご利用ください。

2. 諸手続締切一覧

分類	項目	締切
参加申込・演題登録	参加の申込み(大会参加者全員)	10月2日(金)17時
	ポスター形式の研究発表申込み(責任発表者)	10月2日(金)17時
	自主シンポジウムの申込み(企画者)	10月2日(金)17時
	ラウンドテーブルの申込み(企画者)	10月2日(金)17時
	日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウムの申込み(企画者)	10月2日(金)17時
大会論文集原稿の投稿	ポスター形式の研究発表原稿(責任発表者)	11月16日(月)17時
	自主シンポジウムの原稿(企画者)	11月16日(月)17時
	ラウンドテーブルの原稿(企画者)	11月16日(月)17時
	日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウムの原稿(企画者)	11月16日(月)17時
諸費用納入	大会参加	11月16日(月)
	自主シンポジウム(企画者)	11月16日(月)
	ラウンドテーブル(企画者)	11月16日(月)
	日本発達心理学会関連団体の企画シンポジウム(企画者)	11月16日(月)

3. 日本発達心理学会・会費の納入方法

第27回大会で研究発表をする場合には、2015年度の会費を発表申込みの前までに納入し、2016年度会費を発表当日までに納入してください。両方を納入していない場合には、大会での発表の権利を失います。会費についてのお問い合わせは、日本発達心理学会会員管理事務局（E-mail：g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp）までお願いします。

4. 日本発達心理学会への入会方法

日本発達心理学会に入会していない方が会員（一般会員／学生会員）として研究発表を行うためには、発表申込みの前までに2015年度会費の納入を含めて日本発達心理学会への入会手続きを完了していることが必要です。入会申し込み後、入会承認手続きがおこなわれます。入会申込URLは、<http://www.jsdp.jp/contents/base/nyukai.html> です。

入会手続きについてのお問合せは、日本発達心理学会会員管理事務局（E-mail：g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp）までお願いします。

5. 宿泊について

今大会は大型連休の入り口に開催いたしますため、参加の確実な方は早めにご自身で宿泊予約をされることをおすすめいたします。追って業者による宿泊の案内もいたしますが、大会としてご案内できる室数には限りがあり、各日 180 室程度の見込みです。詳細は、大会ホームページの更新をお待ちください。

6. その他

(1) 会務報告、表彰式

会務報告および学会賞の表彰式を行います。大会 2 日目 4 月 30 日（土）を予定しています。詳細は大会ホームページおよびプログラムにてご案内いたします。

(2) 懇親会

大会 2 日目 4 月 30 日（土）18 時より、懇親会を行います。会場は、北海道大学札幌キャンパス内の『レストラン エルム』です。会費は事前申込 5,000 円（学生 1,000 円）、当日参加 6,000 円（学生 2,000 円）です。定員 80 名に達ししだい締め切らせていただきます。

(3) 託児室

大会期間中、小さなお子様をお連れの参加者を支援するために、会場内に託児室を開設します。託児室の利用は**有料**です。半日で 2000 円（学生は 1000 円）程度（保険、おやつ代込）を予定しています。託児室に関する詳細は、後日大会ホームページおよびプログラムにてお知らせします。

(4) 昼食

大会期間中、北海道大学生協食堂および購買部が営業しております。また、会場から徒歩圏内にコンビニエンス・ストア等ございます。

(5) コピー

会場内でコピーは出来ません。コンビニエンス・ストア等をご利用ください。

(6) 書籍および機器の展示

大会期間中に、会場内において書籍や機器の展示を行います。

VI. 第 27 回大会および学会に関する連絡先

1. 大会総合窓口

会場や大会全般に関する質問は、E-mail で大会総合窓口にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会第 27 回大会総合窓口

E-mail : jsdp2016@edu.hokudai.ac.jp

第 27 回大会ホームページ : <http://www.jsdp.jp/conf2016/>

2. 大会参加・発表申し込み、参加費納入に関する問い合わせ先

大会参加・発表申し込み、大会参加費納入に関する問い合わせは、E-mail で日本発達心理学会会員管理事務局・大会サポートデスクへお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会 会員管理事務局・大会サポートデスク

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1 丁目 24-1

第2ユニオンビル4F (株) ガリレオ内

E-mail : g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp

TEL : 03-5981-9824

3. 学会事務局

一般社団法人日本発達心理学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-5 平清ビル 401

E-mail : office@jsdp.jp

FAX : 03-5840-9338

学会 HP : <http://www.jsdp.jp/>